

令和2年度（2020年度）スポーツ振興関連事業の概要 （スポーツ振興課・東京オリンピック連携課関連）

1	○スポーツ王国北海道事業費				
事業内容					
スポーツ機会の向上 【特定財源：toto助成金】					
		予算額	R1(2019)実績		
①スポーツチャレンジ教室 本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎え、五輪種目や冬季種目を中心とした体験型教室の開催		2,963	チャレンジ教室 16会場 890名		
②ペアレンツスクール ・子どもの親を対象とした講習会を開催 ・講習会用ハンドブックの作成		356	ペアレンツスクール 13会場 359名		
③地域スポーツ支援事業 総合型クラブ育成の支援等のため、指導者養成事業などを実施 ・クラブマネジメント講習会の開催 ・全道スポーツ連携会議の開催 ・指導者派遣事業		980	・総合型SCがフェリス ・スポーツネットワーク会議 札幌市 参加者延べ151名 ・指導者派遣事業 8回派遣		
発掘・育成					
		予算額	R1(2019)実績		
④有望選手発掘・育成事業 【特定財源：toto助成金】 中高生を対象に有望選手を発掘・育成（カーリング、スケルトン、パイアスロンの3競技で実施） ・セレクションの開催 ・育成プログラムの実施（個別プログラム、集合プログラム）		8,690	・セレクションの実施19名 ・地域育成 週3回 ・集合型育成 延べ7回 ・合同合宿 延べ160名		
⑤ジュニアズスポーツアスリート強化育成事業 将来、トップ選手として活躍できる可能性のあるジュニア選手を育成・強化 ・夏季・冬季スポーツ競技別強化活動（(公財)北海道スポーツ協会補助）		24,626	・競技別強化活動 夏季・冬季競技で実施		
⑥パラアスリート発掘プロジェクト 【特定財源：toto助成金】 ・実行委員会（年2回） ・タ ・測 ・発		0	別事業へ移行		
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	37,615 千円	R 1 (2019) 予算額	45,233 千円

2	○地域スポーツコミッション推進事業費				
目 的：スポーツを通じた地域の活性化を促進するため、全道の各地域にスポーツコミッションを設立し、スポーツ大会や合宿誘致を全道に展開する。					
事業内容					
区 分		内 容		R1(2019)実績	
ネットワーク会議		○地域の実態を把握し、共有		・19地域で会議開催 参加者 96名	
ストック調査		○道内スポーツ施設ストック調査整理、公表・発信			
マッチング支援		○全国競技団体と調整し、スポーツ大会・合宿を誘致			
SCアドバイザー委嘱		○スポーツ精通人材の活用、地域等との調整		・アドバイザー-3名委嘱	
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	3,525 千円	R 1 (2019) 予算額	3,651 千円

3	○障がい者スポーツ振興費				
<p>目的：障がい者の体力維持や残存能力の向上を図り、スポーツ大会等を通じて道民の障がい者に対する理解を深めるため、大会の開催経費、全国大会への選手派遣経費等に対し助成を行う。 ((公財)北海道障がい者スポーツ協会補助)</p>					
事業内容 (単位：千円)					
区分	事業名	概要等	予算額	R1実績	
大会開催事業	北海道障害者スポーツ大会	・大会規模：選手600名 ・競技数：6競技	9,850	開催地：網走市他 参加選手：368名	
	北海道障害者冬季スポーツ大会	・大会規模：選手200名 ・競技数：2競技	1,557	中止(新型コロナウイルスの影響)	
	はまなす全国車いすハーフマラソン大会	・大会規模：選手100名 ・開催場所：札幌市内	14,000	開催地：札幌市 参加選手：101名	
障害者スポーツ指導者養成事業	障害者スポーツ指導員養成講習	・地域で障がい者スポーツの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成	396	受講者数：35名	
	競技指導者研修事業	・障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し競技規則、実技講習会を実施	4,516	受講者数：61名	
障害者スポーツ普及促進事業	知的障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	361		
	身体障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	293		
	精神障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	368		
障害者スポーツ普及振興事業		・障がい者スポーツに関する調査・研究、地方障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興	586	障がい者スポーツの普及促進	
担当課	スポーツ振興課	R2(2020)予算額	31,927千円	R1(2019)予算額	31,927千円

4	○全国障害者スポーツ大会派遣事業費				
<p>目的：(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う全国障害者スポーツ大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金 [補助金交付先：(公財)北海道障がい者スポーツ協会] 補助内容：北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費(交通費・宿泊費等)を、(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。</p>					
区分	内 容				
大会名称	第20回全国障害者スポーツ大会				
開催地	鹿児島県				
開催期間	令和2年(2020年)10月24日～26日(3日間)				
競技種目	13競技(個人競技)陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング (団体競技)バスケットボール、車椅子バスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、フットベースボール、バレーボール、サッカー				
担当課	スポーツ振興課	R2(2020)予算額	31,038千円	R1(2019)予算額	19,718千円

5	○北海道パラスポーツ連携促進事業				
<p>目的：健常者スポーツと障がい者スポーツの連携を促進、障がい者スポーツの裾野拡大と競技力向上に取り組むとともに、地域への定着を目指す。</p>					
区分	内 容	予算額	R1実績		
パラスクール連携事業【スポーツ庁委託事業】	・実行委員会(年2回) ・健常者及び障がい者によるスポーツ教室の開催(札幌市内)	3,200	新規事業のため、なし。		
パラリスト発掘プロジェクト【特定財源：toto助成金】	・実行委員会(年2回) ・タレントスカウティング(特別支援学校等で発掘活動) ・測定会・体験会の開催(全道3会場) ・発掘選手を対象にセミナー開催(年2回)	9,939	測定会・体験会 1回開催 測定会 16名 体験会 約200名 ※ 第2回測定会・体験会及びセミナーは新型コロナウイルスの影響により中止		
担当課	スポーツ振興課	R2(2020)予算額	13,139千円	R1(2019)予算額	7,210千円

6	○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業				
目的：聖火フェスティバルを道内で実施し、東京パラリンピックに向けた道内気運の醸成を図る。					
事業内容					
区分		内 容			
東京パラリンピック		聖火フェスティバルの開催			
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	10,000 千円	R 1 (2019) 予算額	－ 千円

7	○東京2020オリンピック連携推進事業				
目的：東京2020オリンピック競技の札幌開催を契機とした地域活性化に取り組むとともに、成果をレガシーとして子どもたちに引き継ぐため、市町村等との連携のもと、おもてなしや魅力発信などに取り組みます。					
事業内容					
区分		内 容			
市町村連携プロモーション		・道内市町村による地域PR ・北海道庁及び関係団体による北海道プロモーション（食・観光・文化）			
子どもたちへのレガシー継承		・子どもたちの招聘（マラソン競技応援、オリンピック等アスリートとの交流）			
担当課	東京オリンピック連携課	R 2 (2020) 予算額	95,000 千円	R 1 (2019) 予算額	－ 千円

8	○ホストタウンアスリート交流プロジェクト補助金				
目的：東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした海外との交流による地域の活性化を推進するため、道内のホストタウンが実施する海外選手と住民等との交流に要する経費の一部を補助します。					
事業内容					
区分		内 容			
ホストタウンアスリート交流プロジェクト補助金		・補助対象：相手国との交流に要する経費（特別交付税対象経費を除く） ・補助先：ホストタウン登録自治体 ・補助率：10/10以内（上限550千円）			
担当課	東京オリンピック連携課	R 2 (2020) 予算額	5,000 千円	R 1 (2019) 予算額	－ 千円

9	○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業				
目的：東京2020オリンピック聖火リレーを道内で実施するなど、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた道内気運の醸成を図る。					
事業内容					
区分		内 容			
聖火リレー		・実行委員会開催経費 ・聖火リレー実施経費（沿道民間警備、出発式、セレブレーション、広報PR等）			
都市装飾		・新千歳空港への装飾			
担当課	東京オリンピック連携課	R 2 (2020) 予算額	390,000 千円	R 1 (2019) 予算額	68,500 千円

10	○北海道スポーツ表彰																																																																										
<p>目的：スポーツの振興に寄与したものと及びスポーツの優秀な成績を収めた者を「北海道スポーツ賞」として顕彰することにより、スポーツを行うものに名誉を付与しその成績をたたえ、道民のスポーツに対する関心と熱意を喚起・高揚し、もって北海道のスポーツの振興を図る。</p> <p>過去の受賞者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H23 (2011)</th> <th>H24 (2012)</th> <th>H25 (2013)</th> <th>H26 (2014)</th> <th>H27 (2015)</th> <th>H28 (2016)</th> <th>H29 (2017)</th> <th>H30 (2018)</th> <th>R1 (2019)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツの振興に寄与した者</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>24</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>26</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>29</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>20</td> <td>31</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>特別表彰</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スポーツ奨励賞 (H20 (2008) 新設)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	スポーツの振興に寄与した者	4	3	3	2	4	4	5	5	5	スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	20	6	4	24	6	4	15	26	4	スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	2	6	2	3	1	2	—	—	—	合 計	26	15	9	29	11	11	20	31	9	特別表彰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	スポーツ奨励賞 (H20 (2008) 新設)	1	2	4	2	1	7	4	4	3
区 分	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)																																																																		
スポーツの振興に寄与した者	4	3	3	2	4	4	5	5	5																																																																		
スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	20	6	4	24	6	4	15	26	4																																																																		
スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	2	6	2	3	1	2	—	—	—																																																																		
合 計	26	15	9	29	11	11	20	31	9																																																																		
特別表彰	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																		
スポーツ奨励賞 (H20 (2008) 新設)	1	2	4	2	1	7	4	4	3																																																																		
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	305 千円	R 1 (2019) 予算額	305 千円																																																																						

11	○北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費				
<p>目的：H22(2010).10月に北海道とソウル特別市が友好交流協定を締結したことを契機として、スポーツ分野の観点からソウル国際マラソンと北海道マラソンとの交流を図り、両地域の友好親善を深める。</p> <p>1 事業概要 ○両地域における最大規模のマラソン大会のランナーの交流を図り、それぞれの大会をPRすることにより、一般市民ランナーの交流拡大をめざし、両地域の友好交流の促進とスポーツ振興を図る。</p> <p>2 事業内容 (北海道) 選手受け入れ(ソウル国際マラソン出場者2名程度招待) ソウル国際マラソン大会へ北海道知事賞等を出賞 (ソウル) 選手受派遣(2名程度派遣) ソウル特別市長賞出賞</p>					
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	412 千円	R 1 (2019) 予算額	458 千円

12	○スポーツ競技力向上推進費補助金																																								
<p>概要：(公財)北海道スポーツ協会が実施する選手強化事業等に要する経費に対する補助 [補助金交付先：(公財)北海道スポーツ協会]</p> <p>《事業内容》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>実施規模 R2(2020)</th> <th>予算額</th> <th>R 1 (2019)実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定強化指導者研修会</td> <td>・実技を中心とした系統的指導法 ・技術の習得</td> <td>46種目 130人</td> <td>1,666</td> <td>参加指導者65人 札幌市</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">選手強化事業</td> <td>道内合宿 ・1年を通じて実施される道内の合宿</td> <td>46種目 1,150人</td> <td rowspan="3">57,767</td> <td>40種目 延べ159回 選手3,095人</td> </tr> <tr> <td>強化合宿 道外合宿 ・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿</td> <td>44種目 330人</td> <td>24種目 延べ43回 選手574人</td> </tr> <tr> <td>有望選手活動支援 ・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援</td> <td>対象10人 1人あたり 20万円</td> <td>対象11人</td> </tr> <tr> <td>競技団体育成事業</td> <td>・競技力向上推進委員会</td> <td></td> <td>125</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>スポーツ医・科学トータルサポート事業</td> <td>・合宿地・国体会場等での医学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営(調査研究)</td> <td>3種目 (陸上、柔道、バドミントン)</td> <td>5,473</td> <td>13種目 サポートスタッフ述べ13人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td>65,031</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業名	事業内容	実施規模 R2(2020)	予算額	R 1 (2019)実績	指定強化指導者研修会	・実技を中心とした系統的指導法 ・技術の習得	46種目 130人	1,666	参加指導者65人 札幌市	選手強化事業	道内合宿 ・1年を通じて実施される道内の合宿	46種目 1,150人	57,767	40種目 延べ159回 選手3,095人	強化合宿 道外合宿 ・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	44種目 330人	24種目 延べ43回 選手574人	有望選手活動支援 ・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり 20万円	対象11人	競技団体育成事業	・競技力向上推進委員会		125	2回	スポーツ医・科学トータルサポート事業	・合宿地・国体会場等での医学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営(調査研究)	3種目 (陸上、柔道、バドミントン)	5,473	13種目 サポートスタッフ述べ13人	合 計			65,031	
事業名	事業内容	実施規模 R2(2020)	予算額	R 1 (2019)実績																																					
指定強化指導者研修会	・実技を中心とした系統的指導法 ・技術の習得	46種目 130人	1,666	参加指導者65人 札幌市																																					
選手強化事業	道内合宿 ・1年を通じて実施される道内の合宿	46種目 1,150人	57,767	40種目 延べ159回 選手3,095人																																					
	強化合宿 道外合宿 ・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	44種目 330人		24種目 延べ43回 選手574人																																					
	有望選手活動支援 ・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり 20万円		対象11人																																					
競技団体育成事業	・競技力向上推進委員会		125	2回																																					
スポーツ医・科学トータルサポート事業	・合宿地・国体会場等での医学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営(調査研究)	3種目 (陸上、柔道、バドミントン)	5,473	13種目 サポートスタッフ述べ13人																																					
合 計			65,031																																						
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	65,031 千円	R 1 (2019) 予算額	65,031 千円																																				

13	○スポーツ団体活動費補助金																								
<p>目的：本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、(公財)北海道スポーツ協会が行う事業に補助する。 [補助金交付先：(公財)北海道スポーツ協会]</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内 容</th> <th>予算額</th> <th>R 1 (2019)実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民体育大会運営事業</td> <td>①国体予選会事業の一部補助 40団体 ②人件費</td> <td>606</td> <td>北海道予選会 40競技団体</td> </tr> <tr> <td>競技団体育成事業</td> <td>①競技団体運営活動費助成 11団体 ②人件費</td> <td>410</td> <td>助成10団体</td> </tr> <tr> <td>スポーツ指導員養成事業</td> <td>①スポーツ指導者ブロック研究会 4会場 ②人件費</td> <td>2,318</td> <td>道内4会場 参加者254人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団育成事業</td> <td>①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場 ③人件費</td> <td>800</td> <td>参加者70人</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 容	予算額	R 1 (2019)実績	国民体育大会運営事業	①国体予選会事業の一部補助 40団体 ②人件費	606	北海道予選会 40競技団体	競技団体育成事業	①競技団体運営活動費助成 11団体 ②人件費	410	助成10団体	スポーツ指導員養成事業	①スポーツ指導者ブロック研究会 4会場 ②人件費	2,318	道内4会場 参加者254人	スポーツ少年団育成事業	①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場 ③人件費	800	参加者70人
事業名	内 容	予算額	R 1 (2019)実績																						
国民体育大会運営事業	①国体予選会事業の一部補助 40団体 ②人件費	606	北海道予選会 40競技団体																						
競技団体育成事業	①競技団体運営活動費助成 11団体 ②人件費	410	助成10団体																						
スポーツ指導員養成事業	①スポーツ指導者ブロック研究会 4会場 ②人件費	2,318	道内4会場 参加者254人																						
スポーツ少年団育成事業	①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場 ③人件費	800	参加者70人																						
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	4,134 千円	R 1 (2019) 予算額	4,010 千円																				

14	○国民体育大会派遣費																																	
<p>目的：(公財)北海道スポーツ協会が行う国民体育大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金 [補助金交付先：(公財)北海道スポーツ協会]</p> <p>補助内容：北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費(交通費・宿泊費・用具輸送費)を、(公財)北海道スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。</p> <p>事業概要 令和2年度(2020年度)派遣者数 1,076人(役員12名、選手・監督1,064人) (令和元年度(2019年度)派遣者数実績(1,040人(役員12名、選手・監督1,028人))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">第75回大会</th> <th colspan="2">第76回大会</th> </tr> <tr> <th colspan="2">本大会</th> <th>冬季大会(スケート・アイスホッケー)</th> <th>冬季大会(スキー)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催地(主会場)</td> <td colspan="2">鹿児島県</td> <td>岐阜県・愛知県</td> <td>秋田県</td> </tr> <tr> <td>開催時期</td> <td colspan="2">R2(2020).10</td> <td>R3(2021).1</td> <td>R3(2021).2</td> </tr> <tr> <td>実施競技数</td> <td colspan="2">37公式競技</td> <td>2公式競技</td> <td>1公式競技</td> </tr> <tr> <td>派遣人員</td> <td colspan="2">882人</td> <td>93人</td> <td>63人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* ブロック大会及び予選会28人</p>						区 分	第75回大会		第76回大会		本大会		冬季大会(スケート・アイスホッケー)	冬季大会(スキー)	開催地(主会場)	鹿児島県		岐阜県・愛知県	秋田県	開催時期	R2(2020).10		R3(2021).1	R3(2021).2	実施競技数	37公式競技		2公式競技	1公式競技	派遣人員	882人		93人	63人
区 分	第75回大会		第76回大会																															
	本大会		冬季大会(スケート・アイスホッケー)	冬季大会(スキー)																														
開催地(主会場)	鹿児島県		岐阜県・愛知県	秋田県																														
開催時期	R2(2020).10		R3(2021).1	R3(2021).2																														
実施競技数	37公式競技		2公式競技	1公式競技																														
派遣人員	882人		93人	63人																														
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	138,106千円	R 1 (2019) 予算額	75,710千円																													

15	○札幌ドーム整備費補助金				
<p>目的：札幌市が建設した全天候型多目的施設(札幌ドーム)は、道民の生活文化の向上に資する施設であることから、建設費の一部に対し助成する。 [補助金交付先：札幌市]</p> <p>事業内容：助成総額 100億円を限度 建設時(H10(1998)~H12(2000))各4億円 償還時(H13(2001)~R13(2031))各年度 負担額の範囲内</p>					
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	365,000千円	R 1 (2019) 予算額	138,000千円

16	○広域拠点スポーツ施設整備費補助金				
<p>目的：本道のスポーツの振興を図るため、広域拠点スポーツ施設として、釧路市が建設した湿原の風アリーナ及び帯広市が建設した屋内スピードスケート場に対し補助する。 [補助金交付先：釧路市、帯広市]</p> <p>事業内容：起債償還に対する補助 釧路市 (H21(2008)~R 5(2023)) 帯広市 (H22(2009)~R11(2029))</p>					
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	77,692千円	R 1 (2019) 予算額	78,226千円

17	○北海道立総合体育センター管理運営費				
<p>目的：道立総合体育センターの効率的運営を図るため、指定管理業務を指定管理者へ委託する。 [委託先：(公財)北海道スポーツ協会]</p>					
施設概要等					
施設名称		北海道立総合体育センター(開館：平成12(2000年)年2月13日)			
所在地		札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1			
主な施設		メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室			
指定管理者		(公財)北海道スポーツ協会			
指定期間		平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022)3月31日(4年間)			
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	301,930千円	R 1 (2019) 予算額	305,603千円

18	○北海道立北見体育センター管理運営費				
<p>目的：道立北見体育センターの効率的運営を図るため、指定管理業務を指定管理者へ委託する。 [委託先：(公財)北見市体育協会]</p>					
施設概要等					
施設名称		北海道立北見体育センター(開館：昭和57年(1982年)6月6日)			
所在地		北見市東陵町2-7 東陵運動公園内			
主な施設		アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室			
指定管理者		(公財)北見市体育協会			
指定期間		平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日(4年間)			
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	59,937千円	R 1 (2019) 予算額	59,956千円

19	○北見体育センター費(施設建設事業費)				
<p>目的：道立北見体育センターの適切な維持保全を図るため、設備の老朽箇所について、必要改修等を行う。</p>					
工事スケジュール					
		R 1 (2019)	R 2 (2020)		
暖房衛生設備改修工事		改修工事	—		
電気設備他改修工事		改修工事	—		
外壁改修工事		改修工事	—		
床等改修工事		—	実施設計		
非常用電源改修工事		—	実施設計		
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	6,193千円	R 1 (2019) 予算額	317,877千円

20	○総合体育センター費(施設建設事業費)				
<p>目的：道立総合体育センターの長期保全化を図るため、主要施設(メインアリーナ床、トイレ設備等)の改修を行う。</p>					
工事スケジュール					
		R 1 (2019)	R 2 (2020)		
サブアリーナ床改修工事		改修工事	—		
メインアリーナ床改修工事		—	改修工事		
衛生設備改修工事		—	実施設計、改修工事		
担当課	スポーツ振興課	R 2 (2020) 予算額	54,340千円	R 1 (2019) 予算額	132,464千円

令和2年度（2020年度）スポーツ振興関連事業の概要（総合政策部関連）

21	○北海道未来人材応援事業										
目 的	本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」等により支援します。										
事業の概要	[スポーツコースの概要] ※他に学生留学、文化芸術、未来の匠の3コースがあります。										
1 主な支援対象	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢 北海道在住の18歳から39歳の方 ・対象 3～12ヶ月の海外研修 ・人数 若干名 										
2 主な支援内容	<table border="1"> <tr> <td>滞在費（定額）</td> <td>12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)</td> </tr> <tr> <td>往復渡航費（定額）</td> <td>10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)</td> </tr> <tr> <td>授業料、研修費、入学金、国際的協議会等参加費等</td> <td>上限30万円</td> </tr> </table>					滞在費（定額）	12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)	往復渡航費（定額）	10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)	授業料、研修費、入学金、国際的協議会等参加費等	上限30万円
滞在費（定額）	12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)										
往復渡航費（定額）	10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)										
授業料、研修費、入学金、国際的協議会等参加費等	上限30万円										
3 令和元年度（2019年度）実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコース 1名 										
4 その他	令和2年度（2020年度）以降の募集要項等詳細は、道ホームページに掲載。 ※予算額は、スポーツコースのほか、文化芸術コース、未来の匠コースを含む額です。										
担当課	総合教育推進課	R 2 (2020) 予算額	9,000 千円	R 1 (2019) 予算額	9,000 千円						

22	○北海道・ロシア連邦地域間交流発展加速事業				
目 的	ロシアの諸地域との交流計画等に基づき、友好・経済交流を推進し、地域経済の活性化につなげるとともに、信頼関係の醸成により、領土問題の解決に向けた環境を整備し、外交交渉の発展を後押しする。				
事業概要	健康・スポーツ交流関係者をロシア・モスクワへ派遣する。				
【R1年度実績】	なし（R2新規事業）				
担当課	国際課	R 2 (2020) 予算額	6,930千円	R 1 (2019) 予算額	— 千円

23	○地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）				
<p>目的：地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取組の促進を図るため、市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む各種事業に対して支援する。</p> <p>事業内容</p>					
(1) ハード系事業					
交付対象事業		・スポーツ振興事業 (屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業) など*			
交付対象者		交付対象者		上限額	下限額
交付限度額		・市町村		1億円	500万円
		・一部事務組合、広域連合		2億円	
(2) ソフト系事業					
交付対象事業		・スポーツ振興事業(スポーツ振興事業) など*			
交付対象者		交付対象者		上限額	下限額
交付限度額		・市町村		500万円	50万円
		・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等		1,000万円	
		・総合振興局長・振興局長が適当と認める者		300万円	10万円
※交付対象事業について、振興局においてメニューを設定					
担当課	地域振興局 地域政策課	R 2 (2020) 予算額	4,280,000千円 (地域づくり推進事業分)	R 1 (2019) 予算額	4,250,000千円 (地域づくり推進事業分)

令和2年度（2020年度）スポーツ振興関連事業の概要（環境生活部関連）

24	○ウポポイ開設を捉えたアイヌ政策推進事業			
<p>目的：国が掲げる来場者100万人の達成に向けて、認知度向上やアイヌ文化の発信等により道内外の気運醸成を図るとともに、国内外からの誘客を促進する。</p> <p>事業内容 （単位：千円）</p>				
区 分		主な事業内容		
気 運	人口集中圏	・各種広報による誘客、集客イベントに合わせたブース出展等		
	周 辺 エリア等	<ul style="list-style-type: none"> ・白老町駅北ゾーンにてPRブース出展 ・祝賀開業レセプション ・札幌、周辺（白老、登別）での秋・冬集客イベント ・長期滞在中（ニセコ）の来道外国人に対する誘客 		
醸 成	アイヌ文化 情報発信 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリパラ開会式等でのパフォーマンス披露等 ・アイヌ工芸品販路拡大・担い手育成 		
	アイヌ文化 情報発信強化	・博物館及びアニメによる文化発信		
道内周遊観光促進		・象徴空間地域と他地域の観光客の相互誘因		
海外への情報発信		<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の食・観光・アイヌ文化等のPR ・物産展 ・どさんこプラザの店内啓発 		
担当課	アイヌ政策課	R2年度予算額	401,410千円	

令和2年度（2020年度）スポーツ振興関連事業の概要（保健福祉部関連）

25	○明るい長寿社会づくり推進事業費				
<p>目的：介護予防の観点から、高齢者の各種活動の推進組織づくり、社会参加活動の振興のための指導者等養成、仲間づくり支援、老人週間事業を総合的に実施する。</p> <p>事業内容 （単位：千円）</p>					
項 目		内 容		R 1 (2019)実績	
高齢者の社会活動についての啓発及び普及啓発事業費		情報誌		ホームページ掲載	
高齢者のスポーツ・健康づくり地域活動等推進組織づくり事業費		全道高齢者スポーツ等大会の開催、全国健康福祉祭への選手派遣等		12種目に助成 全国へは125名派遣	
高齢者の社会活動の振興のための指導者育成事業費		高齢指導者（シニアリーダー）の育成		78名の指導者登録	
仲間づくり支援事業費		生きがいネットワークづくりの支援		2圏域で14回、講演会、自主事業の支援を実施	
老人週間事業費		全道高齢者作品展の開催、老人週間啓発事業		作品展の実施	
担当課	高齢者保健福祉課	R 2 (2020) 予算額	30,679千円	R 1 (2019) 予算額	36,985千円

令和2年度（2020年度）スポーツ振興関連事業の概要（経済部関連）

26	○北海道アウトドア活動振興環境整備事業費														
<p>【目的・概要】 アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営や、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アウトドアガイド資格等の認定登録・管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格認定証書等の作成・交付 ・ 試験実施状況等の確認 ○ 資格制度の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格制度推進委員会の開催 ○ 資格制度の普及PR <p>【令和元年度（2019年度）実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格認定等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">区分</th> <th style="width: 20%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトドアガイド資格新規認定</td> <td style="text-align: center;">28件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド資格更新認定</td> <td style="text-align: center;">106件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド検定合格認定</td> <td style="text-align: center;">10件</td> </tr> <tr> <td>アウトドア講習修了認定</td> <td style="text-align: center;">62件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試験等実施状況の確認 ガイド資格：更新時講習1回 						区分	件数	アウトドアガイド資格新規認定	28件	アウトドアガイド資格更新認定	106件	アウトドアガイド検定合格認定	10件	アウトドア講習修了認定	62件
区分	件数														
アウトドアガイド資格新規認定	28件														
アウトドアガイド資格更新認定	106件														
アウトドアガイド検定合格認定	10件														
アウトドア講習修了認定	62件														
担当課	観光局	R 2 (2020) 予算額	368 千円	R 1 (2019) 予算	389 千円										

27	○北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業												
<p>【目的・概要】 訪日外国人観光客の旅行形態は、団体旅行から個人旅行へと変化し、その趣向やニーズは多様化。日本国内の他地域に比べ、本道に優位性のあるスポーツを核としたツーリズムの振興を図ることで、新たな本道の旅の魅力を創出し、安定的に外国人来道者を増加させる。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本道は、夏期の冷涼な気候や冬期のパウダースノーなど、日本国内の他地域と比べ、スポーツツーリズムの推進に適した地域である。 ○ 今後、大型のスポーツイベント（2020（2021）年東京夏季五輪）の開催が予定されており、外国人が日本に目を向ける大きなチャンスが到来している。これに合わせ、本道のスポーツツーリズムを振興することにより、外国人来道者の増加を図る。 ○ 北海道の代表的な観光資源である食と自然に加え、スポーツの場としての北海道をPRすることにより、新たな観光資源を創出し、スポーツを観光資源として外国人観光客の誘致を推進する地域と一体となって誘致活動を行う。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tbody> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> 【スキー】 中国 欧州 米国 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現地セミナー（2ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地のセミナーにて道内スキーをPR ○ 現地商談会・旅行博（2ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地商談会・旅行博にて道内スキーをPR </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 【サイクリング】 台湾 シンガポール タイ 豪州 香港 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3,000冊（英語版） ○ サイクリングイベント等出典（1ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントに出展し、道内のコース等をPR ○ インフルエンサー・旅行会社招聘（3ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外インフルエンサー・旅行会社を招聘し、道内コースをPR </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 【マラソン】 台湾 中国 香港 シンガポール </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 繁体字、簡体字、英語（各1,000部）増刷 ○ 現地プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地マラソン大会のブースにおいて道内大会をPR ○ 旅行会社等招聘 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外旅行会社等を招聘し、道内大会をPR（各3人～4人×3回） ○ 研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道内マラソン大会主催者向け研修会を開催 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 【ゴルフ】 豪州 台湾 タイ マレーシア </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現地プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントのブースにおいて北海道のゴルフをPR ○ KOL・旅行会社招聘 <ul style="list-style-type: none"> ・ KOL、旅行会社を招聘し、道内コースをPR </td> </tr> </tbody> </table>						【スキー】 中国 欧州 米国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現地セミナー（2ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地のセミナーにて道内スキーをPR ○ 現地商談会・旅行博（2ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地商談会・旅行博にて道内スキーをPR 	【サイクリング】 台湾 シンガポール タイ 豪州 香港	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3,000冊（英語版） ○ サイクリングイベント等出典（1ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントに出展し、道内のコース等をPR ○ インフルエンサー・旅行会社招聘（3ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外インフルエンサー・旅行会社を招聘し、道内コースをPR 	【マラソン】 台湾 中国 香港 シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 繁体字、簡体字、英語（各1,000部）増刷 ○ 現地プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地マラソン大会のブースにおいて道内大会をPR ○ 旅行会社等招聘 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外旅行会社等を招聘し、道内大会をPR（各3人～4人×3回） ○ 研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道内マラソン大会主催者向け研修会を開催 	【ゴルフ】 豪州 台湾 タイ マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現地プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントのブースにおいて北海道のゴルフをPR ○ KOL・旅行会社招聘 <ul style="list-style-type: none"> ・ KOL、旅行会社を招聘し、道内コースをPR
【スキー】 中国 欧州 米国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現地セミナー（2ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地のセミナーにて道内スキーをPR ○ 現地商談会・旅行博（2ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地商談会・旅行博にて道内スキーをPR 												
【サイクリング】 台湾 シンガポール タイ 豪州 香港	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3,000冊（英語版） ○ サイクリングイベント等出典（1ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントに出展し、道内のコース等をPR ○ インフルエンサー・旅行会社招聘（3ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外インフルエンサー・旅行会社を招聘し、道内コースをPR 												
【マラソン】 台湾 中国 香港 シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 繁体字、簡体字、英語（各1,000部）増刷 ○ 現地プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地マラソン大会のブースにおいて道内大会をPR ○ 旅行会社等招聘 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外旅行会社等を招聘し、道内大会をPR（各3人～4人×3回） ○ 研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道内マラソン大会主催者向け研修会を開催 												
【ゴルフ】 豪州 台湾 タイ マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現地プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントのブースにおいて北海道のゴルフをPR ○ KOL・旅行会社招聘 <ul style="list-style-type: none"> ・ KOL、旅行会社を招聘し、道内コースをPR 												
担当課	観光局	R 2 (2020) 予算額	43,130 千円	R 1 (2019) 予算額	43,563 千円								

令和2年度（2020年度）スポーツ振興関連事業の概要（教育庁関連）

28	○学校スポーツ振興事業費				
目的：学校スポーツ活動の普及促進を図るため、運動部活動における各種大会等に参加するための教員引率旅費を措置するとともに、全道大会の開催費について補助を行う。					
事業概要等 (単位：千円)					
	区 分	事 業 内 容	予算額	R 1 (2019) 実績	
全国大会	生徒引率旅費	中体連 高体連 (総合体育大会)	30,004	300名	近畿
		高体連 (選抜等大会)	18,277	236名	九州
		高体連	5,507	103名	
		定体連 全盲体連	1,867 374	19名 5名	東京都 岩手県
地区大会	生徒引率旅費	中体連	10,089		
全道大会	開催費	中体連	470	夏季 15種目	札幌市外
		高体連	582	冬季 2種目	札幌市外
		高体連	582	夏季 31種目	札幌市外
		定体連	100	冬季 2種目	釧路市外
			7種目	札幌市外	
担当課	健康・体育課	R 2 (2020) 予算額	67,220千円	R 1 (2019) 予算額	82,984千円

29	○学校体育推進事業費				
目的：中学校の武道必修化を踏まえ、安全かつ効果的な授業の充実を図るため、外部指導者の派遣等を行う。					
事業概要等					
	区 分	目 的	事 業 内 容	R 1 (2019) 実績	
	武道等指導推進事業 ～国委託事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度（2012年度）から武道及びダンスが必修となったことから安全管理、指導体制の充実を図る ・中学校における武道等の授業を安全に行うために、外部指導者等を派遣し、安全で効果的な授業の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道・ダンス振興協議会及び武道講習会の実施 ・町道場等から学校への外部指導者派遣 ・体育教員の資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道ダンス・振興協議会の開催（2回開催） ・武道ダンス講習会 柔道3会場、ダンス2会場 ・地域の指導者の派遣 柔道等75校延べ118人 	
担当課	健康・体育課	R 2 (2020) 予算額	5,108千円	R 1 (2019) 予算額	9,026千円

30	○学校・家庭・地域の連携協力推進事業（放課後子供教室推進事業費補助金）				
目的：放課後や週末等に全ての子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、学習や体験活動の機会を提供することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。					
事業概要等					
実施主体	項 目	事 業 内 容 等	補助率	R 1 (2019) 実績	
市町村	放課後子供教室の実施	全ての子どもを対象に活動拠点を提供	国1/3以内 道1/3以内 市町村 1/3 以上	実施市町村・教室数（政令都市、中核市除く） ・68市町村 151教室 対象学校 (小学校187校) (中学校 18校)	
	放課後子供教室の備品整備	開設備品（カーペット、テレビ、机等）の整備			
	コーディネーターの配置	学校、保護者、その他関係機関との調整（児童クラブとの調整）			
	運営委員会の実施	事業計画、安全管理方策、実施後の検証・評価等（児童クラブ含む）（構成員：行政、教職員、児童クラブ関係者、PTA、地域住民等）			
北海道	推進委員会の開催	放課後対策の総合的な在り方等を検討（構成員：道教委、保福部、教職員、学識経験者等）	国 1/3 道 2/3	年3回開催 道内6会場、10回開催、参加者780名	
	指導者研修の実施	コーディネーター等への研修の実施			
担当課	義務教育課	R 2 (2020) 予算額	58,362千円	R 1 (2019) 予算額	64,876千円

31	○体力向上支援事業		
<p>【概要】 体育を専門とする教員の配置やその巡回指導を通して、地域の課題解決のための授業改善や学校等における児童の運動習慣の定着に向けた取組などを推進するほか、指導力の優れた中学校体育教員を講師とした教科指導力向上を図る取組を実施するなど、教員の資質向上や学校等における体力向上の取組の改善・充実に支援する。</p>			
【事業概要】			
区分	目的	事業内容	
小学校体育専科教員活用事業	・体育専科教員の配置 ・体育授業の改善・充実にに向けた教員の指導力向上や学校全体の体力向上の取組の充実	・学級担任とのチームティーチング等による指導 ・運動意識向上や運動習慣定着などに向けた学校全体の取組への支援 ・近隣校の体力向上の取組に対する指導助言 ・授業研究や管内課題の解決に向けたブロック別協議 ・体育専科教員の実践概要資料の作成	
小学校体育エキスパート教員巡回指導事業	・エキスパート教員の配置 ・複数市町村の小学校巡回 ・巡回市町村や学校における体力向上の取組の改善・充実	・複数市町村内の小学校への訪問、指導助言（1人2市町村程度） ・チームティーチング等による指導力向上の取組に対する指導助言 ・体育専科教員への指導助言 ・市町村の課題等を踏まえた住民向け研修会の実施	
中学校授業実践セミナー	○若年層の中学校保健体育科教員の教科指導力向上	・指導力の優れた中学校教員を講師として選定 ・若年層の中学校保健体育科教員を対象とした研修道内4ブロックで開催 公開授業やワークショップなど実践的な研修	
担当課	健康・体育課	R2年度予算額	6,583千円

32	○学校体育授業改善講習会費					
<p>目的：学校における体育の実技内容について実践的な研修を行い、指導力の充実と向上を図るとともに、本道の子どもの体力を全国平均以上に高めるため、体力向上の要となる体育授業の充実にを図る。</p>						
事業概要等						
区分	対象	期間	会場	講座の設定	講座内容	参加人数
授業等改善講習会	教諭 (小・中・高・特)	2日	1管内	実技・座学講座 など8講座	保健 体づくり運動 陸上 スキー等	各管内8名程度 (14管内×8)
担当課	健康・体育課	R2(2020)予算額	4,313千円	R1(2019)予算額	4,543千円	

33	○教育指導費(学校教育調査研究事業費)オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業					
<p>目的：2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国際的な視野や共生の視点を持って社会に貢献できる人材を育成するため、本道においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する。</p>						
事業概要等						
区分	内容		R1(2019)実績			
道教委(地域拠点)	○関係団体との連携を担うコーディネーターの全国セミナーへの派遣 ○教員を対象とした研修会(地域ワークショップ)の開催(年1回) ○推進拠点校の取組を掲載した普及啓発資料の作成・配布		セミナー：年1回 ワーク：年1回 資料：8,000部			
推進拠点校	○オリパラそのものについての学習 ○オリパラを通じた学習(スポーツの価値、外国の文化・言語・伝統・課題等)		小学校7校 中学校3校 高等学校4校 特別支援学校1校			
推進協力校	○推進拠点校との交流・協議を行い、実践研究の成果を共有		小学校36校 中学校8校 高等学校23校 特別支援学校5校			
担当課	健康・体育課	R2(2020)予算額	5,897千円	R1(2019)予算額	6,810千円	

34	○学校部活動の総合的な支援体制構築事業				
<p>目的：教員の負担軽減及び部活動指導体制の充実を図るため、学校部活動に地域の外部人材などの部活動指導員を配置するとともに、指導方法の研修などを実施する。</p>					
<p>事業概要 (単位：千円)</p>					
	区分	概要	予算額	R 1 (2019) 実績	
	部活動指導員の任用	・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施	道立学校：23,939 中学校：17,249	部活動指導員配置実績 ・道立学校：119校 189部活動 191人	
	指導の充実等に関する研修	・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施	2,487	・中学校：12市町 23校 37部活動 37人	
	部活動活性化プラットフォームの形成	・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定	526		
担当課	教育環境支援課	R 2 (2020) 予算額	44,201千円	R 1 (2019) 予算額	43,747千円
(うち当初予算額39,997千円)					